

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 116

東北森林管理局

取組名	「置賜公益の森づくり協議会」と連携した地域材の利用促進（継続）
流域名	置賜流域
森林管理署名	置賜森林管理署
実施箇所及び実施日	米沢市 4/20 置賜林業推進協議会 山形市 6/3 やまがたの木で家づくり推進大会 飯豊町 7/26 平成23年度置賜「地材地住」ネットワーク総会 白鷹町 10/1 おきたま森の感謝祭 小国町 10/22 小国町の木質エネルギーシンポジウム 新庄市 11/8~9 森林施業集約化技術者育成研修会 (林業機械化デザイン研修) 米沢市 3/14 平成23年度置賜公益の森づくり協議会総会（予定）
取組の背景及び必要性	地域材の消費拡大、安定的な供給が課題となっており、「置賜公益の森づくり協議会」と連携して、低コストでの木材生産、間伐の推進等による事業量の確保を図る必要。
取組の内容	平成19年度に「置賜公益の森づくり協議会」が設立され、地域材の利用について関係者が協働で取組む場が整備された。 20年度の置賜総合支庁との「美しい森林づくりモデル林」現地検討会がきっかけで、以降列状間伐検討会の開催、間伐研修会等を開催、参加している。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 情報の提供・共有
連携協働相手先・役割	置賜公益の森づくり協議会、県置賜総合支庁森林整備課、管内市町、関係団体：企画立案、協議会、研修会等の開催、地域林業実態調査等
取組の結果、反響、今後の課題等	各種会議について、流域内の関係機関、事業者、団体等が情報や課題を共有できた。今後は、より一層地域の間伐促進、安定した木材供給体制の整備が望まれる。
PRの実施状況及びその期待する効果	

【参考資料】

取組名	「置賜公益の森づくり協議会」と連携した地域材の利用促進（継続）
-----	---------------------------------

11/8~9 森林施業集約化技術者育成研修会（林業機械化デザイン研修）



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 117

東北森林管理局

取組名	民有林と連携した森林病虫害対策の実施（継続）
流域名	置賜流域
森林管理署名	置賜森林管理署
実施箇所及び実施日	小国町外 4/7,4/19,5/13,7/22,9/2,11/21,11/24,12/20,1/20 森林病虫害防除連絡調整会議他 米沢市 10/28「置賜森林病虫害獣対策協議会」 小国町 7/12,, 小国町ナラ枯れ被害跡地再生事業への協力 小国町 7/15 秋田市山林保護員ナラ枯れ対策研修会共催 小国町 7/15 ,9/12,9/15 ナラ枯れ被害経過林分の合同調査実施
取組の背景及び必要性	山形県ではカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害が拡大している。この被害の蔓延・拡大と二次被害防止のため、民・国連携した一体的な対策を取る必要。
取組の内容	平成17年に管内にカシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ被害」が確認されて以来、地元自治体等と情報の共有化を図り連携して対策を講じてきた。以降も予防も含めたナラ枯れ防除事業を「重点的に防除すべきナラ林」を中心に展開し、合成フェロモンによる「面的防除実証試験」へのフィールド提供・協力、秋田市山林保護員の研修会を小国町と共催で開催した。また管内において拡大が確認されたウエツキブナハムシの被害について、合同でチラシ作成・配布等普及活動を行った。。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 各協議会、会議等に参加、事業の企画立案、フィールド提供・協力
連携協働相手先・役割	山形県森林研究研修センター、県置賜総合支庁森林整備課、小国町外管内市町、各種団体：協議会、会議等に参加、防除事業、研修会の企画立案、普及活動
取組の結果、反響、今後の課題等	森林所有者のみならず一般市民の関心も高く、ナラ枯れ問題が新聞、テレビ等広く取り上げられた。「面的防除実証試験」におけるフィールドの提供・協力では一定の成果を上げた。今後被害が拡大する様子を見せており、また枯損木がもたらす被害も想定されるので一層の取組が求められる。
PRの実施状況及びその期待する効果	ナラ枯れ対策に関してインフラ施設を担当する部所に対策を要請し危険を除去した。またウエツキブナハムシの被害やナラ枯れ枯損木周辺に発生するカエントケ等について、合同でチラシを作成するなど普及啓発を図った。

【参考資料】

取組名	民有林と連携した森林病虫害対策の実施（継続）
-----	------------------------

- 1 ナラ枯れ対策の調整（小国町森林病虫害防除連絡調整会議：山形県置賜総合支庁、山形県森林研究研修センター、小国町、小国町森林組合、置賜森林管理署）



- 2 面的防除実証試験へのフィールド提供・協力



- 3 研修会等への協力
(1) 秋田市山林保護員ナラ枯れ研修会（共催）



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 118

東北森林管理局

取組名	森林・林業の担い手育成に資する体験学習（継続）
流域名	置賜流域
森林管理署名	置賜森林管理署
実施箇所及び実施日	小国町 6/13 小国町有林にて新潟大学学生の保育（下刈り）作業体験 小国町 9/26 新潟大学学生の発生稚樹調査体験
取組の背景及び必要性	林業関係に就労する者は年々減少と高齢化の傾向にあり、若年層の就業が期待されている。管内の森林比率は比較的高く住民生活に大きく関わっており、体験学習等を通じた担い手育成が期待されている。
取組の内容	ナラ枯れにより著しく被害を被った森林再生の試みとして、ブナ、ナラの幼稚樹の山取苗を被害跡地に植栽した箇所において、その保育作業を小国町有林で開催した。当署はこの事業に全面的に協力した。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 協力
連携協働相手先・役割	小国町、山形県森林研究研修センター、新潟大学農学部 ：企画・実施等
取組の結果、反響、今後の課題等	学生が森林・林業の現場を知ることにより、仕事への認識が深まった。
PRの実施状況及びその期待する効果	学生に森林・林業への関心を高めるきっかけとなった。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林・林業の担い手育成に資する体験学習（継続）
-------	-------------------------

新潟大学山取苗採取・植栽実習



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 119

東北森林管理局

取組名	小中学生等のための森林環境教育の場を提供（継続）
流域名	置賜流域
森林管理署名	置賜森林管理署
実施箇所及び実施日	小国町 6/9 小国町立小国小学校森林教室実施 小国町 6/9 小国町立白沼小学校森林教室・体験林業実施 米沢市 8/26 米沢市立関小学校森林教室・清掃登山実施 小国町 10/26 基督独立学園高等学校森林教室実施
取組の背景及び必要性	森林等自然の中における体験学習の場が求められており、情操教育・環境教育に資するとともに、森林の公益的機能や森林・林業の理解を深める等の普及を図る必要がある。
取組の内容	平成19年度から小国町立白沼小中学校を中心に地域の森林林業の課題について森林教室を行っている。 平成23年度は小国町内の小中学校を対象に森林教室を実施した。白沼小中学校において、小国町役場と連携して、森林教室の開催と学校林（分収造林）の森林整備に講師派遣、その他協力を行った。 また、基督教独立学園高等学校の森林教室を温身平森林セラピー基地で行った。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 企画立案、森林教室講師派遣、体験指導、フィールド提供
連携協働相手先・役割	小国町 企画立案、森林教室等の開催
取組の結果、反響、今後の課題等	児童生徒・教職員・父兄延べ54名が参加した。取組の結果、児童生徒等に地元の森林の森林・林業の意義を学んでもらえた。
PRの実施状況及びその期待する効果	署HPに掲載

【参考資料】

取組名	小中学生等のための森林環境教育の場を提供（継続）
-----	--------------------------

1 小国町立白沼小中学校森林教室・体験林業



2 小国町立小国小学校森林教室



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 120

東北森林管理局

取組名	森林ふれあい推進事業の実施（継続）
流域名	置賜流域
森林管理署名	置賜森林管理署
実施箇所及び実施日	小国町 6/18~19「ブナの森研修会」で講演等と森林浴を実施 小国町 7/23「飯豊山周辺森林生態系保護地域を訪ねる～倉手山からの飯豊連峰と温泉浴～」を実施 米沢市 10/22「いにしへの万世大路～緑の回廊と歴史に触れるトレッキング」を実施
取組の背景及び必要性	環境問題と相まって自然志向が高まっており、森林・林業に接する機会の少ない一般市民を対象にその機会を提供し、さらに森林の持つ公益的機能の理解や普及啓発を図る必要がある。
取組の内容	これまで一般市民を対象に管内国有林の景勝地を案内してきたところであるが、平成23年度も一般市民を対象に同事業を実施した。ブナ林や紅葉を鑑賞しながら、森林・林業について普及啓発を行った。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 企画立案、イベントの開催
連携協働相手先・役割	小国町 企画立案、イベントの開催
取組の結果、反響、今後の課題等	森林ふれあい事業には延べ56名が参加し、参加者からは大変好評であった。
PRの実施状況及びその期待する効果	管内市町広報誌にて募集した。

【参考資料】

取組名 森林ふれあい推進事業の実施（継続）

1 ブナの森研修会



2 森林ふれあい推進事業

(1) 「飯豊山周辺森林生態系保護地域を訪ねる～倉手山からの飯豊連峰と温泉浴～」



(2) 「いにしへの万世大路～緑の回廊と歴史に触れるトレッキング～」



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 121

東北森林管理局

取組名	保護林等におけるボランティア団体等の植生回復・保全事業への協力（継続）
流域名	置賜流域
森林管理署名	置賜森林管理署
実施箇所及び実施日	米沢市 8/21,9/11,10/2,11/23,弥兵衛平湿原植生回復活動の支援 米沢市 8/27 馬場谷地湿原長期モニタリング調査 小国町 9/30～10/2-3 飯豊連峰共同保全作業参加
取組の背景及び必要性	飯豊山、吾妻山周辺森林生態系保護地域は登山者が多く、湿原の荒廃等が見られることから、一般市民を募り観察会やモニタリング等を行うことにより、普及啓発を図る。
取組の内容	飯豊山、吾妻山周辺森林生態系保護地域等保護林内において、地元ボランティア団体等により荒廃した高山植物、湿原の植生回復活動が行われており、これらの活動に人的支援や資材の提供を行った。 また、平成11年から継続されてきた馬場谷地長期モニタリング調査を行い、埋込丸太の現況や撤去後の調査等を行った。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 人的協力、資材等の提供等
連携協働相手先・役割	地元ボランティア団体、環境省、県置賜総合支庁環境課 企画立案、植生回復事業の開催
取組の結果、反響、今後の課題等	飯豊連峰「草月平」等の合同保全作業には、約40名が参加した。弥兵衛平湿原の植生回復事業には30名が参加した。 馬場谷地湿原ではボランティアの協力を得ながら埋込丸太の現況調査、試験的撤去後の経過観察等を行った。 飯豊山、吾妻山周辺森林生態系保護地域における高山植物群落や湿原の荒廃は、一般市民の関心も高く、当署もこのボランティア活動に継続的に支援していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	当署HPに掲載したほか、環境省羽黒自然保護官事務所発行の「飯豊連峰保全連絡会ニュースレター」やボランティア団体のHP・チラシ等に掲載された。

【 参 考 資 料 】

取 組 名

保護林等におけるボランティア団体等植生回復・保全事業への支援（継続）

弥兵衛平植生回復活動



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 122

東北森林管理局

取組名	巨樹・巨木を保全するための地域取組（継続）
流域名	置賜流域
森林管理署名	置賜森林管理署
実施箇所及び実施日	米沢市 6/16 ナラ枯れ予防現地調査 米沢市 7/6 ナラ枯れ予防薬剤注入
取組の背景及び必要性	カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害が拡大する中で、米沢市吾妻山麓に位置する「森の巨人たち100選」の「吾妻のミズナラ」をナラ枯れ被害から保全する必要がある。
取組の内容	平成18年度から、「吾妻のミズナラ」とその周辺の大径木について、殺菌剤の樹幹注入等を行ってきた。 平成23年度は、吾妻のミズナラ周辺の大径木についてナラ枯れ被害を予防するための殺菌剤を樹幹に注入した。また近くに発生したナラ枯れ被害木に防除作業を行った。 地元米沢市や関係団体に情報を提供して、「吾妻のミズナラ」の保全について普及、注意喚起を行った。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 地域関係機関団体への連絡調整
連携協働相手先・役割	米沢市、(株)天元台外
取組の結果、反響、今後の課題等	米沢地方は被害が拡大すると予想され、巨木の保全が求められる。
PRの実施状況及びその期待する効果	HPに掲載。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	巨樹・巨木を保全するための地域取組（継続）
-------	-----------------------

ナラ枯れ予防措置

